第1回定例会会議録

令和7年 3月 7日（金）

開 議 午前10時00分

○議長（荻原謙一君） これより本会議を再開します。

ただいまの出席議員は14名、全員の出席であります。

理事者側も全員の出席であります。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

日程に入るに先立ち、森泉謙夫議員より発言を求められていますので、これを許可します。

森泉謙夫議員。

○4番（森泉謙夫君） 議席番号4番、森泉謙夫です。本定例会3月4日の一般質問、下水道料金比較において当町と同じ条件、 10 m^3 当たりの1か月の税込料金にすると申し上げましたが、正しくは「月に 5 m^3 使用する人の場合の税込月額料金は」でした。この場をお借りいたしまして訂正し、おわびを申し上げます。

また、御代田町の下水道料金は月に 10 m^3 まで定額となっており、下水道料金の 1 m^3 当たりの単価も市町村によって異なっております。そのため、使用した水量によっては、それぞれの市町村の金額が逆転する場合もあることを申し添えさせていただきます。

また、今回の質問にあたり、最初に小諸市の下水道料金を確認し、月 5 m^3 が基準であると勘違いしてしまっていて質問をいたしました。月 10 m^3 まで定額の当町との比較に最適ではない水量での話となりまして、町民の皆様方に誤解を生む可能性のある質問となってしまいました。大変申し訳ございませんでした。

○議長（荻原謙一君） 続いて、小林建設水道課長より発言を求められていますので、これを許可します。

小林建設水道課長。

○建設水道課長（小林 靖君） 改めまして、おはようございます。議案書の313ページをお願いいたします。

令和7年度御代田小沼水道事業の当初予算の添付資料としてお示ししましたキャ

ッシュ・フロー計算書でございます。この中で、計算書の下から3つ目のローマ数字4の資金増加額（または減少額）、マイナス1億662万2,000円と表記してございますが、ここにつきまして本来ですとローマ数字の6と5の差額、または1から3の合計が示されなければいけません。数字間違っておりますので、訂正をさせていただきます。

それから、訂正した資料をお示ししてございますけども、ここで訂正した数字が1億1,040万4,000円となっております。この意味合いは、科目が「資金増加額または減少額」となっておりますので、意味合いとすれば減少額でございますけども、表記の仕方が非常に分かりづらい、紛らわしいということでございますので、4のところを「資金減少額」と改めて訂正をさせていただき、金額の欄につきましては「マイナス1億1,040万4,000円」ということで訂正をさせていただきたいと思っております。

度重なる訂正がございまして、大変申し訳ございませんでした。

―――日程第1 議案第11号 御代田財産区管理委員の選任について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第1 議案第11号 御代田財産区管理委員の選任についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

お諮りします。本案は討論を省略し、直ちに採決したいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認め、議案第11号を採決します。

本案はこれに同意することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

挙手多数であります。よって、議案第11号 御代田財産区管理委員の選任については同意することに決しました。

―――日程第2 議案第12号 三ツ谷地区世代間交流センターの

指定管理者の指定について――

○議長（荻原謙一君） 日程第2 議案第12号 三ツ谷地区世代間交流センターの指定管理者の指定についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

お諮りします。本案は討論を省略し、直ちに採決したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認め、議案第12号を採決します。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

挙手多数であります。よって、議案第12号 三ツ谷地区世代間交流センターの指定管理者の指定については、原案のとおり決しました。

――日程第3 議案第13号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に

関する条例の一部を改正する条例案について――

○議長（荻原謙一君） 日程第3 議案第13号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

茂木重幸議員。

○9番（茂木重幸君） 議席番号9番、茂木重幸です。この協議会の設置された目的と、それから構成される委員の皆さんの顔ぶれを教えてくださいと思います。

○議長（荻原謙一君） 佐藤町民課長。

○町民課長（佐藤聖子君） お答えいたします。

カーボンニュートラル推進計画協議会につきましては、地球温暖化対策の推進に関する法律第22条の規定に基づき設置するものでございまして、カーボンニュートラル推進計画の目標値の見直しや対策、施策に関する事等について協議をしていただきます。

また、森林整備につきましては、当町の行政区域面積において、山林は全体の

54%であることから、カーボンニュートラル推進の観点からも、森林による吸収対策は重要になってきます。

本協議会では、森林整備による吸収対策における数値目標の見直しや対策、施策についても協議するため、協議事項の一つとして森林整備も入りますが、実際の実施については、担当課や森林組合等の事業者となります。

続いて、構成委員についてお答えをいたします。

本協議会は、地球温暖化対策の推進に関する法律第22条第2項に規定するものうちから組織することになります。本協議会の構成委員につきましては、現在検討のため変更の可能性もありますが、構成委員としては地域振興局、学識経験者、議会、商工会議所、農業委員会、森林組合、地元企業、地元金融機関、地元エネルギー会社、町民等、幅広く人選を行い、それぞれの専門的な見地を踏まえ、様々な角度からのご意見が伺える組織としての設置を予定しており、全体で13名程度を考えております。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 茂木重幸議員。

○9番（茂木重幸君） 終わります。

○議長（荻原謙一君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第4 議案第14号 職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を

改正する条例案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第4 議案第14号 職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第5 議案第15号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する

条例案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第5 議案第15号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第6 議案第16号 御代田町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第6 議案第16号 御代田町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第7 議案第17号 御代田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第7 議案第17号 御代田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第8 議案第18号 御代田町滞在型農園施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第8 議案第18号 御代田町滞在型農園施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第 9 議案第 19 号 御代田町工業振興条例の一部を改正する

条例案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第 9 議案第 19 号 御代田町工業振興条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第 10 議案第 20 号 御代田町商工業振興条例の一部を改正する

条例案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第 10 議案第 20 号 御代田町商工業振興条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第 11 議案第 21 号 御代田町町税条例の一部を改正する

条例案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第 11 議案第 21 号 御代田町町税条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第 12 議案第 22 号 御代田町消防団員等公務災害補償条例の一部を

改正する条例案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第 12 議案第 22 号 御代田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第13 議案第23号 御代田町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例案について―――

○議長(荻原謙一君) 日程第13 議案第23号 御代田町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例案についてを議題といたします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第14 議案第24号 令和7年度御代田町一般会計予算案について―――

○議長(荻原謙一君) 日程第14 議案第24号 令和7年度御代田町一般会計予算案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

五味高明議員。

○11番(五味高明君) 議案書の96ページ、お願いします。

款11項1目1節1地方交付税は、予算額16億2,786万6,000円で、前年比7.8%増となっています。この見積りについてお伺いします。

まず、積算の根拠は何であるか、また確たる自信があるのか。

次に、説明欄に普通交付税と特別交付税として内訳がそれぞれ表記されています。特別交付税は臨時財源であり、臨時的に特定の経費に充てるための財源と認識しておりますが、今回、1億1,786万6,000円という端数までつけて計上してあります。何か根拠があるものと考えますが、この計上した理由をお伺いします。

もう1点です。議案書105ページ、款17財産収入項1財産運用収入目1財産貸付収入節1土地建物貸付収入、説明欄001、町有地貸付料で2,516万7,000円が計上されております。この中に、一般社団法人御代田の根に貸付けている土地代が含まれていると思いますが、貸付料、貸付期間は、貸付料算定の根拠は、をお伺いします。

次に、この土地は旧役場庁舎跡地で、総面積の約90%は既に売却済みで、残りの10%であります。売却した土地は大型分譲地が計画されていると聞いております。残り10%を町有地として保有する必要性が見出せません。また、10%のために管理する職員の管理負担等を考えれば、早く売却して固定資産税収を得たほうが町民益になると考えますが、売却でなく貸付けとしている理由をお伺いします。

以上2点、お願いします。

○議長（荻原謙一君） 内堀企画財政課長。

○企画財政課長（内堀岳夫君） それでは、お答えいたします。

まず最初に、普通交付税に関してですが、例年同じ方法で算出しておりまして、6年度実績ベースに対して、1月中旬に国から示される国全体の伸び率を乗じております。

令和7年度においては、令和6年度ベースの14億8,830万9,000円、こちらの1.6%増で15億1,000万円を計上しております。令和3年度以降、毎年数千万円から1億円規模の追加交付があることもありまして、予算額を割ることはないというふうに考えております。

それから2つ目の特別交付税ですね。特別交付税につきましては、標準的な財政需要に応じて配分される普通交付税に対しまして、特別交付税はその自治体の財政需要の特殊性、それからその他特別の事情を考慮して交付されるもので、確かに臨時的な性格を持ったものであります。

当町の特別交付税の予算は、ここ数年は9,000万円で見えておりましたが、令和5年度の実績が1億9,550万8,000円、それから今年度、令和6年度は1億2,000万円程度を見込んでおりまして、算定項目に大きな変更がないことから、ベースとしての9,000万円に1,000万円をプラスしまして、1億円を見込みまして、そこに特別交付税措置される地域おこし協力隊の関係経費1,786万6,000円を加えた、1億1,786万6,000円の特別交付税の予算を計上しております。

続きまして、土地の貸付料ですね。土地の貸付料で、御代田の根に貸付けている土地代ですね。まず貸付料につきましては、来年度166万2,142円を見込んでおります。これ、前回から比べますと、5万2,767円ほど増える貸付料としております。

それから、貸付期間につきましては、4月1日から3月31日までの1年間としております。それから算定根拠ですが、この土地については普通財産になりますが、御代田町の行政財産の目的外使用に関する条例、こちらを準用をしまして路線価の6%で算出しております。路線価が上がっているため、前の貸付料よりかは増えている。そういった見込みで予算計上をしております。

それから、あと最後ですね。理由と、売ったほうがいいんじゃないかというところなんですけど、確かにご指摘のとおり、早期売却したほうが、特に管理面、それから金額面では町民益になるという考え方もあると思います。しかし、町の目的に資する使い方、適正な価格であれば貸し付けてもよいということでありまして、貸し付ける方向で考えております。

理由につきましては、1月16日の全員協議会において、町民課から報告があったとおり、御代田の広場については親子や児童が集い、交流が生まれ、子どもの居場所として利用されていることから、新年度についても引き続き、町と連携を図りまして、継続していくことが望ましいと判断し、現在、覚書の締結を進めているところです。

こうした理由から、企画財政課では普通財産でありますこの土地について貸し付ける予定で、今回予算計上したものでございます。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 五味高明議員。

○11番（五味高明君） 終わります。

○議長（荻原謙一君） ほかに質疑はありませんか。

内堀綾子議員。

○3番（内堀綾子君） これについてでいいですか。一般会計でいいですか。

○議長（荻原謙一君） そうですよ。

○3番（内堀綾子君） はい。議案第24号 御代田町一般会計予算、議案書113ページ、款2総務費、項1総務管理費、目1一般管理費、説明欄12060、人事評価制度支援業務委託料95万4,000円、質問1としてどのような業務をどのような効果を求めて、どのようなところに委託するか。

議案書115ページ、款2総務費、項1総務管理費、目1一般管理費、説明欄12060、ホームページ保守管理委託料346万5,000円、委託内容の詳細

と令和6年度の実績の保守内容を踏まえて、保守内容の見直しはした上で予算計上か。

議案書117ページ、款2総務費、項1総務管理費、目2文書広報費、説明欄12060、例規データベース維持管理業務委託料658万3,000円、文書管理業務委託料1,705万円、委託内容は。

議案書120ページ、款2総務費、項1総務管理費、目6企画費、説明欄1、01030、長期振興計画・総合戦略審議会委員報酬33万6,000円について4点。委員の人数、委員会開催日程と回数の計画は。審議員は特別職の公務員になると思うが、町民の方に審議員の公表はどのように行うか。

また、議案書121ページの12060、長期振興計画策定業務委託料878万9,000円、これは審議会委員と委託先で同一の方、重複はないのか。

次に、同じページ121ページ、款2総務費、項1総務管理費、目6企画費、説明欄12060、駅前整備検討業務委託556万6,000円、これにつきましては小井土議員の一般質問に進捗などは詳しくありましたので、556万6,000円の中身について詳細をお願いいたします。

議案書130ページ、款2総務費、項5統計調査費、目2指定統計費、説明欄1、01070、調査員報酬543万5,000円について2点。調査員の現在の人数は。また、2点目として報酬の算定方法は。

議案書136ページ、款3民生費、項1社会福祉費、目1老人福祉費、説明欄12060、高齢者等ごみ出し支援事業委託料72万円、質問二つあります。事業内容の詳細と支援者側の対象範囲、支援を受ける側の対象範囲は。2として、委託先はどのようなところを考えているか。

議案書182ページ、款10教育費、項1教育総務費、目2事務局費、説明欄18050、小中学校探求学習補助金100万円、こちら予算のほうでひとくくりで100万円となっていますが、町立3校にどのような配分を行うのか。また、二つ目の質問として教職員の働き方改革途中の現在と、小中学校の詰め込み過ぎ教育も叫ばれる中で通常の業務、先生方にとっては業務、生徒にとっては授業に支障を生まないことが一番、3校が実際に行う内容についてお知らせください。

議案書、次のページ183ページ、款10教育費、項1教育総務費、目2事務局費、説明欄12060、ICT支援員委託料104万円、各校年間何回で、1回何

時間、ほかの市町村では授業のサポートも含めた予算計上をしているところもあるが、御代田町では額が少ないのでどのような支援を期待しての金額か、詳細をお伺いしたい。

議案書 183 ページ、款 10 教育費、項 1 教育総務費、目 2 事務局費、説明欄 050-1、GIGA スクール整備事業経費 5,024 万 6,000 円、事業詳細をお知らせください。

議案書 201 ページ、款 10 教育費、項 1 保健体育費、目 2 体育施設費、説明欄 12020、バスケットゴール点検委託料 44 万円、対象施設はどこでしょうか。以上です。

○議長（荻原謙一君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原春樹君） それでは、私のほうから議案書の 113 ページにあります、人事評価制度支援業務委託料 95 万 4,000 円についてご説明をさせていただきます。

こちら、平成 28 年に策定をしました御代田町人事評価制度につきまして、これまでの運用の中で見えてきた課題を解決するため、また策定から 8 年が経過しようとしている中で現状に即した制度設計にするために、改正するための支援業務となっております。

具体的には、部門、管理職との面談や職階ごとの被評価者の効果要素、行動基準案の作成、評価結果の処遇への反映基準案の作成、新制度における改正事項の説明を含む人事評価制度研修の開催が含まれているものであります。

制度設計の改正による効果につきましては、行政課題が年々多様化・複雑化している状況下で、今の町が求める職員像に合った評価軸、方法にすることとしまして、評価結果が適切に処遇へ反映されるよう見直すことで、職員の納得感を醸成し、仕事に取り組む意識を高め、ひいては行政サービスの向上につながることを期待してのことでございます。

また、職員一人一人の能力を公平かつ公正に評価して人材を育てることで、前向きに生き生きと働くことのできる職場の実現を目指しております。

最後に、委託先についてですが、平成 28 年の御代田町人事評価制度の策定の支援に始まり、毎年の職員研修もお願いしております、御代田町の人事評価制度に精通している委託業者に依頼する予定でございます。

次に、議案書 1 1 5 ページのホームページ保守管理委託料についてでございます。こちらにつきましては、令和 6 年度にはホームページ編集システム保守と、ホームページのサーバー使用料をそれぞれ委託料と使用料に分けておりましたが、実際にはサーバーの使用と保守も担っていただいていたため、令和 7 年度から同じ委託料に統合をさせていただきました。

さらに、暗号化対応ができていなかった縄文ミュージアムのホームページも、将来的に町ホームページと同じ基盤に移管できるようにリニューアルするための委託も含んでいるため、例年よりも増額となっているところであります。

令和 6 年度の委託内容としては、町公式図書館、空き家バンクのホームページのサーバーの保守管理利用料と S S L 証明書の更新作業、システム操作研修、ホームページ編集システムの保守管理となっております。

トップページのバナーや写真の差し替え、ホームページ容量の増減、添付ファイルの管理、公開終了ページの削除などをタイムリーに対応いただいている状況でございます。

続きまして、議案書の 1 1 7 ページであります。初めに、例規データベース維持管理委託料 6 5 8 万 3 , 0 0 0 円でございますが、現在、町で御代田町例規集データベースシステムを運用しております。この例規データベースシステムの維持管理業務に加え、令和 7 年度から例規集の管理業務をしている事業者が変更となることによりまして、この構築費用、また日頃の条例改正などによるデータベース更新や法制執務に係る職員に対する支援業務、法令の改廃情報の迅速な把握・提供を受けるための業務委託料となります。

また、令和 7 年度においては、ただいま申し上げました例規集データベースシステム維持管理などの業務に加え、今後 D X 推進による様々な行政手続のデジタル化を進めていく上で、デジタル化を阻害する書面や対面で処理しなければならないアナログ的な規制の見直しを実施することとしております。

続きまして、その下になります。文書管理業務委託料 1 , 7 0 5 万円についてであります。こちら、現在、庁舎内の文書管理については、文書管理システムを使用しまして、文書目録や保存年限の登録を行い、紙ベースの書類の保存や廃棄の管理をしているところでございます。令和 7 年度に予定をしております文書管理業務委託料 1 , 7 0 5 万円においては、現在、使用しております文書管理システムに関

する追加機能として電子決済システムを導入する予定であります。

電子決済を導入することによりまして、文書の起案、決済、文書保存、廃棄までを文書管理システム上で完結できるようになります。懸案文書の持ち回り時間の軽減が期待されているところであります。また、将来的なりリモートワーク導入時においても、起案、決済が可能となり、職員の多様な勤務体制の構築の一助になるシステムであると考えております。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 内堀企画財政課長。

○企画財政課長（内堀岳夫君） それでは、議案書の120ページからお答えいたします。

まず、長期振興計画の審議会委員の関係ですが、委員の人数につきましては14名を予定しております。それから、審議会の回数ですね、日程と回数につきましては現状5回を想定しておりまして、第1回は4月の開催を予定しております。2回目以降は、まだ決定しておりませんが、全体のスケジュール感から7月、9月、11月、2月で開催したいと考えております。

それから、審議会委員の公表についてですが、審議会委員の位置づけにつきましては、非常勤特別職の公務員とされております。公表については、4月の第1回審議会後を予定しております。また、令和7年度末に計画策定して製本されますので、その計画書の中にも審議会の委員名簿を記載する予定でございます。

続きまして、長期振興計画の策定支援業務委託料、こちらと同一、重複ないかということですが、こちらの委託料につきましては長期振興計画策定に関する支援業務について、株式会社ぎょうせいに委託をする業務になっております。そのため審議会につきましては計画の諮問機関でありまして、町議会それから農業委員会、商工会、民間事業者などで委員構成されておりますので、委託先と審議会の委員が重複するということはございません。

続きまして、121ページ、駅前の整備検討業務委託です。それで、金額が556万6,000円で、内容から内訳ですね、内容については一般質問でお答えしましたので、予算の内訳ですが、まず住民ワークショップ、それからサウンディング型市場調査、こちらに関する支援としまして約90万円、それから資料の作成におきましては約80万円、それから意向調査などに係る人件費としまして90万円、それからその他の経費、それからプラスそのほかの事務経費、足しまして約

200万円で合計の今の予算額で見積もっております。

続きまして、議案書の130ページになります。統計調査の調査員報酬につきましては、調査員の人数は現状今88名で予定をしております。それから、報酬につきましては、都道府県ごとに国で定められております。まず、一つの調査区を受け持つ調査員の報酬が4万6,160円で、54名を見込みまして、合計で249万2,640円。それから、二つの調査区を受け持つ調査員の報酬につきましては8万6,520円、こちらが34名を見込みまして294万1,680円、合計で543万4,320円で予算計上をしております。

なお、こちらの正式な調査数ですね、こちらにつきましては今後国から示されますので、予算につきましては前回の国勢調査の数字を参考にして、今予算計上しているところでございます。

以上になります。

○議長（荻原謙一君） 浅川保健福祉課長。

○保健福祉課長（浅川英樹君） それでは、議案書の136ページ、中段やや下、款3民生費、項1社会福祉費、目2老人福祉費の高齢者等ごみ出し支援事業委託金について、お答えをいたします。

町では、令和7年度から高齢者等ごみ出し支援事業の実施について計画をしております。この事業は、ご自身でごみの集積所まで家庭ごみを出しに行くことが困難であり、身近に手助けをしてくれる方がいない高齢者や障害をお持ちの方に対して、単にごみ出しだけを支援するものではなく、安否確認を兼ねた支援をすると、そういった目的で実施をするものでございます。

対象者につきましては、町内に住所があり、世帯全員が車を運転できないなどの理由により、ごみ集積所にごみをご自身で出すことが困難な方、また敷地内に65歳未満の親族がおらず、親族や周辺の居住者、地域ボランティアなどから継続的に支援を受けられない方で、次の3点のいずれかに該当する世帯に属する方となっております。その3点には一つ目に65歳以上の一人暮らし又は65歳以上のみの世帯の方、二つ目に障害者のみの世帯又は65歳以上の方と、障害者のみの世帯の方で身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保険福祉手帳のいずれかの交付を受けている方、三つ目にその他町長が特に必要と認める方となっております。

収集回数や利用者負担額につきましては、月に2回程度、2回の収集で1回につ

き150円の利用者負担を予定しております。今説明させていただいたとおり、非常に安価な負担額と要件も緩い要件としておりますが、インフォーマルサービスが受けられない方、身近な方の支援がない方の最後の砦として町が支援をするというものでございます。皆様には、その趣旨を十分ご理解の上、ご利用いただきたいというふうに思っております。

このインフォーマルサービスというものは、家族をはじめ近隣や地域社会、NPOですとか、ボランティアなどが行う援助活動のことで、公的なサービス以外のものを指しております。なお、初年度の利用の推移を見守り、予想を超える件数となった場合には、少し要件を厳しくしていくといったことですか、支援の方法の見直しも視野に入れております。

委託先につきましては、町が許可を出している家庭ごみの収集運搬業者、こちらを予定しておるところでございます。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 阿部教育次長。

○教育次長（阿部晃彦君） それでは182ページ、小中学校探求学習補助金についてですが、こちらの探求学習を進めていく上での要望額を各校に確認をしたところ、小学校が1クラス当たり2万円程度、中学校が3万5,000円程度でした。これを基準額とし、普通教室数を乗じて積算をしております。

北小学校が22万円、南小学校が36万円、中学校が42万円、合計で100万円の計上となっております。

それから、実際に行う内容ということでございますが、学級や学年また担任の先生によりましても取り組む内容は様々ですが、例えば農業に触れる農業体験ですとか、産業に触れるため地元の企業を訪問する社会科見学などが挙げられます。

小中学校共通の考え方として、「みよた学」を中核とし、総合的な学習の時間や、社会科あるいは特別活動などの授業で、郷土について学び、自ら問題意識を持ち、自主的に学ぶ力を育成するために探求的な学習に力を入れていくとしております。

そして、これらを総合する場として、中学生模擬議会を位置づけ、学んできた知識や技能等を関連づけて、思考、判断し、行動する力を養っています。

一方で探求学習では様々な費用が発生する状況があり、なかなか幅を広げることができないといった現状もあります。

このようなことから、今も行っています小中学校で行う探求的な学習に係る費用に対して補助を行うものでございます。

それから次に、183ページ、まずICT支援員の委託料でございますけれども、こちらは小中学校あわせて年間35日間の訪問回数で、1日の勤務時間7時間としております。

各月の回数及び支援時間については、各学校の要望に沿った柔軟な対応を取っていきたいと考えております。

業務内容につきましては、小中学校に導入されている学習用ソフトやICT機器等を活用し、授業におけるコンピューター活用の提案や授業支援、また情報モラル教育に関する研修会の開催や授業支援などで、当町でも授業のサポートを含んでいます。

金額につきましては、前年度が213万9,000円、本年度が104万円ですので、前年度に比べ109万9,000円の減額となっております。

これはGIGAスクール構想が5年ほど経過し、教職員もICT機器の活用等に自己研さんを重ね、スキルが向上していることを踏まえ、年間の訪問日数を半分程度に減らしたことが要因でございます。

回数等は減りますけれども、児童生徒の情報モラル教育の推進や教職員のICT機器の活用などのスキルアップに力を貸していただきたいと考えております。

それから、GIGAスクール整備事業経費全体についての事業詳細ということでございますが、まず消耗品費93万5,000円は、こちら小学校の学習支援ソフトの購入費用です。

それから一般修繕料297万円は、学習用端末の修理に係る費用として、予算上は90台分を見込んでおります。

パソコンのセットアップ手数料につきましては、学習用端末の更新時のセットアップ手数料として502台分の計上でございます。

ICT支援員の委託料につきましては、先ほどお答えしたとおりです。

それから学校職員室ネットワーク等環境整備業務委託料、こちらにつきましては、教職員が使用する公務用パソコンのソフトウェアの更新作業委託料で、3校分あわせて148万8,000円となっております。

それからICT環境保守サポート業務委託料319万5,000円ですけれども、

こちらはG I G Aスクール構想により整備した学習用端末の運用サポート業務、それからI C Tの活用支援、またI C Tの活用における研修会の開催、故障端末の回収、修理依頼、返却業務について、一括で専門業者に委託するものとなっております。

パソコンソフト使用料1,135万1,000円につきましては、中学校の学習用端末等入替えに伴います共同学習支援ソフト使用料として138万1,000円と小中学校全端末のフィルタリングソフトが契約期間満了となるため、再度導入する費用としまして997万円を計上しています。

それから最後にパソコンでございますが、令和7年度は使用頻度が最も高い中学校の学習用端末を入れ替えるため、1台当たり5万円の502台分で2,761万円を計上しております。

それから201ページ、バスケットゴールの点検委託料でございます。

こちらは、対象はB & G海洋センターのバスケットゴールでございます。令和6年度にB & Gとやまゆり体育館、それぞれバスケットゴールの点検を実施し、そのうち、やまゆり体育館のバスケットゴール等はひび割れ等が見つかったことから、令和7年度に設備の更新を予定しています。よって、更新するやまゆり体育館は点検不要ですので、令和7年度はB & G海洋センターのバスケットゴールが対象となっております。

以上でございます。

○議長（荻原謙一君） 内堀綾子議員。

○3番（内堀綾子君） 議案書115ページの款2総務費、項1のホームページ保守管理委託料ですが、サーバーの容量はどのくらいになりますでしょうか。

○議長（荻原謙一君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原春樹君） ちょっと資料手元にないもので、ここではお答えできません。お願いします。

○議長（荻原謙一君） 内堀綾子議員。

○3番（内堀綾子君） 議案書117ページ、先ほど電子決裁も行うということでしたが、この行政記録の保存がより確実になるってことでよろしいですか。

○議長（荻原謙一君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原春樹君） そういうことも含まれたり、紙での保存というのが極力少な

くなるので、そういったところもあわせて実施されるということになります。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 内堀綾子議員。

○3番（内堀綾子君） 次、議案書120……。

○議長（荻原謙一君） 議員の本案に関する質疑は3回を超えますので、まとめてください。

○3番（内堀綾子君） 以上です。

○議長（荻原謙一君） ほかに質疑はありませんか。

中山温夫議員。

○7番（中山温夫君） それでは、議案書の139ページ、お願いします。

款3民生費、項2児童福祉費、目1児童福祉総務費12060、こども計画策定委託料332万円についてですが、令和6年度に作成している子ども・子育て支援計画との関連性についてと作成する委託についての委託する内容、それから作成のスケジュールについてお願いします。

それから166ページ、款7商工費、項1商工費、目2観光費010—01、観光総務一般経費1,977万8,000円の予算のうち、魅力発信事業についての令和7年度の事業計画についてお願いします。

それから、現在関東圏域で暮らしている町内出身者などへの、この事業についての情報発信や連携について考えていることがあったらお願いします。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 佐藤町民課長。

○町民課長（佐藤聖子君） 139ページ、こども計画策定委託料332万円についてお答えいたします。

本年度策定しております子ども・子育て支援計画との関連でございますが、こども計画はこども基本法に基づき子ども施策を定める計画です。

勘案すべきこども大綱では、子どもが生きやすい社会を実現するための政策を考える上で大本となる方針を定めており、当町もこれに基づいて策定してまいります。

本年度に第3期計画を策定している子ども・子育て支援事業計画は、子ども・子育て支援制度を推進していくための提供体制をどのように整え、どのような子育て支援を進めていくかを定めるための計画です。

こども計画は、本年度策定している子ども・子育て支援事業計画のほか、子どもの貧困対策計画や子ども・若者計画の内容を含んだ子ども分野の総合計画に当たるものとなっております。

続いて、委託内容でございますが、子ども・若者に対するアンケートの実施、集計、分析、骨子案の検討、作成を委託してまいります。

なお、子育て家庭へのアンケートは本年度実施したものを生かす予定でございます。

続いて、作成のスケジュールでございますが、計画策定のスケジュールといたしましては、5月頃にプロポーザルを実施する予定で、その後決定した業者と協議しながらアンケートを実施し、集計、分析、骨子案の作成を行い、子ども・子育て会議やパブリックコメントを得て、令和8年3月に策定を完了する予定でございます。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 木内産業経済課長。

○産業経済課長（木内一徳君） 166ページ、観光総務一般経費の中の魅力発信事業経費でございますが、少しちょっと分かりづらいので簡単に内訳のほうを最初に説明させていただきます。

まず、観光PR等報償費、こちらの34万6,000円、それから普通旅費の一部として14万5,000円、費用弁償11万7,000円、消耗品の一部として17万5,000円、賄い材料費の一部として50万1,000円、手数料2万3,000円、それから自動車借り上げ料9万円、駐車場利用料2万6,000円、会場の借り上げ料が67万9,000円、合計で210万2,000円、こちらが魅力発信事業経費でございます。詳細については、委員会で説明させていただきます。

ご質問の事業計画につきましては、令和7年度は東京ミッドタウン八重洲内にある「POTLUCK YAESU」と「銀座NAGANO」で魅力発信事業の実施を計画しています。

当町のPR事業は、これまで江東区民まつりをはじめ、様々なイベント会場に出展をして、高原野菜など町の特産品を販売しながら不特定多数の方にPRをしてきましたが、この魅力発信事業はあらかじめテーマを決めて、そのテーマに関心のある方を対象として、より深く御代田町を知ってもらう形態で実施していく予定です。

昨年12月には試験的な取り組みとして「POTLUCK YAESU」で「信

州・御代田を知る会」を開催し、115名参加の下、そば打ちパフォーマンスや町長とゲストによるトークセッション、新そばと地酒などを味わっていただきながらの交流会を実施して、当町への移住やふるさと納税、観光などに関する内容をPRしました。

令和7年度は、町内への移住や食と農業、町内企業の紹介など、テーマをより具体的に絞って実施したいと考えています。

なお、当初予算では、昨年12月に実施した事業費を踏まえ、「POTLUCK YAESU」と「銀座NAGANO」それぞれ1回ずつ開催する事業費を計上しました。今後東京でこのような事業を定期的実施していくことで、当町の知名度向上につながり、コアな御代田ファンが生まれてくるものと考えています。

こちらの事業については、現在県の元気づくり支援金の申請をしていますので、採択された場合は「POTLUCK YAESU」での開催を1回分増やすことを考えています。

元気づくり支援金に採択された場合は補正対応させていただきたいと思っておりますので、その際は議員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

続いて、二つ目の質問です。

関東圏で暮らしている町内出身者などの方々への情報発信や連携についてということでございます。

昨年12月に試験的にPR事業を開催した際には、町長、副町長、町職員をはじめ、議会からは正副議長と町民建設経済の常任委員長、それから商工会長、観光協会会長、そば打ちパフォーマンスと新そば提供に携わっていただいたまちづくり協議会の方たち、それからトークセッションに携わっていただいたGokalab（ゴカラボ）の方に参加いただきました。

今後、継続的に本事業を実施していくには、毎回これだけのメンバーに参加していただくことは難しい状況がありますので、町関係者だけでなく、東京首都圏に住んでいて、御代田のよさを知っている方々にサポートしてもらい仕組みを構築していきたいと考えています。

令和7年度の魅力発信事業では、学生など若い方で東京方面にお住まいの町内出身者にも、成人式などの場を活用して参画を呼びかけていきたいと考えています。これにより若い方にふるさと御代田のよさを一緒にPRし、御代田町を考えてもら

うことで、将来的には町の活性化や発展に寄与していくことにつながると考えています。

また、各方面で活躍されている方が加入する東京御代田会を通じて周知を図ることで、より幅広い方面に周知していくことができるのではないかと考えています。

議員の皆様にもお知り合いの方などいらっしゃいましたら、ぜひお声かけいただけると幸いです。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 中山温夫議員。

○7番（中山温夫君） 終わります。

○議長（荻原謙一君） 日程第14 議案第24号 令和7年度御代田町一般会計予算案について審議中ですが、この際、暫時休憩します。再開はブザーにてお知らせします。

（午前11時02分）

（休 憩）

（午前11時14分）

○議長（荻原謙一君） 休憩前に引き続き本会議を再開し、質疑を続行します。

荻原総務課長から発言を求められていますので、これを許可します。

荻原総務課長。

○総務課長（荻原春樹君） 先ほどの内堀議員の質問にお答えをさせていただきます。

この休み時間中に事業所のほうに連絡を取ったんですが、公開している情報でないので、今すぐここでお答えできないというようなことを言われまして、ここで答弁できませんが、申し訳ございませんが、よろしく願いいたします。

○議長（荻原謙一君） ほかに質疑はありませんか。

池田るみ議員。

○10番（池田るみ君） 議席番号10番、池田るみです。3点について質問をいたします。

議案書140ページ、款3民生費、項2児童福祉費、目1児童福祉総務費、説明欄の080—01、幼稚園振興経費18050、多様な集団活動事業の利用支援360万円の支援内容について。

次に153ページ、款4衛生費、項1保健衛生費、目4環境衛生費、説明欄

010-01、環境衛生一般経費18050、飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術補助金97万5,000円は、令和6年度までの補助率2分の1から全額補助して予算額も増額をしたということでありますが、現在の補助金交付要綱第4条では、補助金の額は手術に要した費用の2分の1とし、不妊手術に当たっては1回1万円、去勢手術に当たっては1回5,000円を限度とするとあります。この上限額も撤廃し、手術に要した費用の全額の補助となるということでしょうか。また、そのほかに要綱の変更はありますでしょうか。

また、令和6年度の当初予算30万円と今定例会の補正予算22万円とあわせて52万円に対しまして約2倍の予算となっておりますが、何頭分の補助を見込んでいるのでしょうか。

ページ162ページ、款6農林水産業費、項2林業費、目3森林整備事業費、説明欄の010-01、森林整備事業経費12060、観光地等の景観整備に関する事業委託料150万円の委託内容についてお聞きします。

○議長（荻原謙一君） 佐藤町民課長。

○町民課長（佐藤聖子君） 140ページ、多様な集団活動事業の利用支援360万円の支援内容についてお答えいたします。

本事業は、地域の教育・保育需要に沿った教育・保育施設及び地域子ども・子育て支援事業の量的拡大を進める上で、地域や保護者のニーズに応じて、地域において重要な役割を果たし、小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動を提供している施設を利用している子どもの保護者に対し、経済的負担を軽減する観点から、その利用料の一部を助成するものでございます。

本事業実施要綱に定める資料を提出した施設に通園する児童が対象となりまして、現在対象となる施設は「森のようちえんぴっぴ」さんでございます。通園するお子様1人当たり一月2万円を上限として助成いたします。

なお、本事業は、国・県の補助金である子ども・子育て支援交付金において、国3分の1、県3分の1の補助を受け実施いたします。

続いて153ページ、飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術補助金97万5,000円についてお答えをいたします。

令和5年7月より実施しております飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術補助金事業は、令和5年度が、雄30頭、雌40頭に対して補助金を支給しており、

令和6年度は3月1日現在で、雄21頭、雌33頭に対して補助金を支給しております。

ボランティアや町民の皆様のご協力により、多くの飼い主のいない猫の不妊・去勢手術が行われてきました。

今回、令和7年7月1日から補助率2分の1を撤廃できるように要綱改正を進めております。

今回の改正で、補助額の上限である避妊手術1回1万円、去勢手術1回5,000円に変更はございません。また、今回の改正では、申請書兼請求書の押印の廃止、また、添付書類として提出いただいている手術前後の写真を手術後の写真のみに変更するといった申請手続に係る書類の見直しも行っております。

続いて、何頭分の補助を見込んでいるかというご質問でございますが、令和7年度当初予算につきましては、令和5年度及び令和6年度の実績値から算出した数値を基に、近隣自治体で補助率2分の1を撤廃した際の伸び率約48%を見込んで算出しており、令和7年度では、雄53頭、雌71頭を見込んでおります。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 木内産業経済課長。

○産業経済課長（木内一徳君） 議案書162ページ、目3森林整備事業費、説明欄の観光地等の景観整備に関する事業委託料150万円の内容でございます。

観光地等の景観整備に関する事業は、森林税を財源とした市町村の森林整備を支援する県の補助事業です。

委託内容は、しゃくなげ公園駐車場から真楽寺を望む眺望を確保するため、森林内の支障木を伐採する事業です。

しゃくなげ公園駐車場南東の森林は町管理の松林ですが、樹齢65年を経過して高木となり過密化しているため、森林内に光が差し込まず暗い状態となっているため、高木の伐採と集積、灌木を除去し、公園の眺望の確保や景観の向上を図り、観光地としての魅力向上につなげていきたいと考えています。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 池田るみ議員。

○10番（池田るみ君） 飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術の補助金のほうで、上限額はあるということでありましてけれども、2分の1の補助率がなくなるという

ことで、利用が増えると考えます。

令和6年度については、今回補正予算で対応をいただいているわけですが、令和7年度、途中で予算額に達した場合の対応はどのように考えているのかお聞きします。

○議長（荻原謙一君） 佐藤町民課長。

○町民課長（佐藤聖子君） 年度途中で予算額上限に達しました場合は、補正予算を組みたいと考えております。

○議長（荻原謙一君） 池田るみ議員。

○10番（池田るみ君） 終わります。

○議長（荻原謙一君） ほかに質疑はありませんか。

尾関充紗議員。

○2番（尾関充紗君） 議案書160ページをお願いします。

款6農林水産業費、項1農業費、目3農業振興費、節14工事請負費、クラインガルテン事業経費の施設改修工事費149万6,000円について、工事内容を教えてください。

残り4点、お願いします。

議案書164ページ、お願いします。

款6農林水産業費、項3農地費、目2土地改良維持費、節14工事請負費、農道用水等維持補修工事5,300万円のうち、町長の招集挨拶でも説明があった雪窓湖遊歩道整備工事3,000万円について、雪窓湖の魅力を高めるための取り組みとのことだが、具体的な事業計画と内容は。また、住民ワークショップなどで意見公募の予定はありますでしょうか。お聞かせください。

次、議案書P165ページ。

款7商工費、項1商工費、目1商工振興費、節18負担金補助金及び交付金、商工会補助金958万円について、昨年度当初予算より598万円の増額となっていると思いますが、理由についてお聞かせください。

次、議案書173ページ。

款8土木費、項4都市計画費、目1都市計画総務費、節12委託料、空家実態調査業務302万5,000円について、業務委託内容と空家実態調査の進め方についてお聞かせください。

次、議案書 176 ページ、款 8 土木費、項 5 住宅費、目 1 住宅管理費、節 12 委託料、景観計画策定支援業務委託費 710 万 9,000 円について、予算計上に当たり、これまでの経過とまた令和 7 年度の業務委託内容についてお聞かせください。

○議長（荻原謙一君） 木内産業経済課長。

○産業経済課長（木内一徳君） それでは議案書の 160 ページ、お願いします。

最初の質問の目 3 農業振興費、説明欄のクラインガルテン事業経費のうち、施設改修工事費 149 万 6,000 円の工事内容でございます。

令和 7 年度にクラインガルテンの交流施設に猛暑対策としてエアコンを設置いたします。交流施設の天井が特殊な形状で、天井設置型のエアコンが設置できないため、29 畳用の家庭用エアコンを 2 台設置いたします。工事内容はエアコンの設置費用とこれに伴う電気工事等でございます。暑くなる前の早い時期の工事着工を予定しております。

次の質問、議案書の 164 ページお願いいたします。

款 6 の農林水産業費、項 3 農地費、目 2 の土地改良維持費、農道用水等維持補修工事費 5,300 万円でございます。

現在、雪窓湖は公園内の池を囲うように遊歩道が設置されていますが、池の西側が未整備となっているため、池を周回できるよう遊歩道を整備する計画です。遊歩道の整備にあわせて、雪窓湖周辺に施設利用者が休憩できるベンチや、雪窓湖の農業用ため池としての役割や歴史を案内する看板を設置する予定です。

遊歩道整備により、施設利用者が安全に園内を散策できるようになり、公園の利便性が向上します。また、池の管理道路として活用することで、日常の維持管理がしやすくなります。これら周辺環境を整備して、農業用ため池の用水の確保のみならず、町民の憩いの場の創出や、生物の生息、生育場所の保全、自然環境の学びの場など、多面的な機能が発揮されることを期待しています。

今後につきましては、住民参加型のワークショップを開催し、町民の意見を募り、最終的な整備計画を取りまとめ、令和 7 年度の事業執行を予定しています。

次、3 つ目の質問です。165 ページ。

商工会補助金の増額理由ということでございますが、増額の理由でございますが、令和 7 年度に町商工会と連携して町内企業ガイドを作成します。この企業ガイド作成に係る費用を町商工会に補助金として支出し、企業ガイドの冊子の作成と専用サ

イトの立ち上げなどをしてもらいます。

町内企業では、新型コロナ以降、人手不足や人材確保の面で苦慮している状況があります。このような状況下、これまで町として町内企業の情報発信が不足していたことから、町内企業を掲載した企業ガイドを商工会とともに作成し、町内に広く周知していくことで、町内出身の学生のUターンにつなげていきたいと考えています。

なお、企業ガイドの作成に当たっては、中学生の職業体験などとも連携を図り、中学生による企業PRや企業の感想なども掲載していくことを考えています。これにより、中学生が町内企業を身近な存在として捉え、将来的な就職先として考えてもらうことと、社会に広く配布される冊子の作成に携わることで、社会人としての意識の醸成にも役立つものと考えています。

また、当町への移住を検討する方にとっては移住後の就業先が懸念材料ではありますが、企業ガイドにより町内企業を紹介できるようになることで、当町への移住促進、また企業にとっては人材確保につながることを期待できます。

このほか町内事業所に配布することで、企業間の事業マッチングにもつながることも考えられます。

企業ガイドの作成予定冊数は6,500冊を予定していて、そのうち、町内の各世帯配布用に5,000冊、商工会加入事業者をはじめとする事業者用に500冊、そのほか区に加入されていないご家庭、移住者向けなどで1,000冊を見込んでいます。

現時点では、町内200事業者の掲載を見込み、冊子発行に係る経費で400万円、企業ガイドの専用サイト作成に係る経費で180万円、サイトの維持管理経費で18万円を見込んでいます。

この事業についても、県の元気づくり支援金の申請をしていますので、採択されれば、事業費の4分の3を県からの補助として受けることができます。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 小林建設水道課長。

○建設水道課長（小林 靖君） 議案書173ページ、お願いいたします。

目1都市計画総務費、説明欄一番下になります。空家実態調査業務についてですが、当町の空家実態調査は、平成27年度の調査以降、新たに空き家となっている

家屋の調査を行っておりません。そのため、予算計上した空家実態調査を業務委託し、上水道の閉栓、また開栓の情報、航空写真を活用しまして、空き家であろう家屋を抽出した後、現地踏査をして、新たな空き家を把握してまいります。

また、令和2年度時点で空き家認定しております272件のフォローアップもあわせて、この調査で行う予定でございます。

業務委託の完了後は、町が把握した空き家の所有者に対して、空き家の利用状況ですとか、空き家になった時期、修繕、または取り壊し等の予定であったり、利活用の希望などを意向調査実施いたします。回答を基に地域振興係と連携して、空き家所有者の意向を確認し、空き家解消に向けた施策の資料として活用してまいります。

続いて、議案書176ページをお願いいたします。

目1住宅管理費、説明欄中段になりますが、景観計画策定支援業務委託でございます。

こちら支援業務のこれまでの経過につきましては、令和6年度に公募型プロポーザル方式により景観計画策定に向けた支援業務の請負業者を選定してまいりました。その後、景観計画を策定するに当たり幅広い観点から検討を行うため、御代田町景観計画策定委員会を設置し、委員数は10名で、うち1名は町民からの公募により選任したところでございます。

令和7年2月に第1回策定委員会を開催いたしました。また、今月は当町の景観の魅力や課題、今後の景観づくりに対するご意見等をいただくため、3月15日、3月22日の2日間、町内を3地区に分けて、住民参加型のワークショップを開催してまいります。

令和7年度の業務委託内容についてですが、住民アンケートの実施、景観計画策定委員会運営支援、パブリックコメント実施支援、景観計画案の作成、景観条例の作成、また、関係条例等修正の支援、景観計画概要版の作成が業務内容となっております。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 尾関充紗議員。

○2番（尾関充紗君） 雪窓湖遊歩道整備工事3,000万円について、住民参加型ワークショップ開催予定とのことですが、こちらの開催時期や回数について検討

はできているかお聞かせください。

○議長（荻原謙一君） 木内産業経済課長。

○産業経済課長（木内一徳君） 開催時期は今のところ5月を予定しています。回数については、まだちょっとはつきりしていませんが、5月に開催を予定しています。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 尾関充紗議員。

○2番（尾関充紗君） 以上です。

○議長（荻原謙一君） ほかに質疑はありませんか。

赤田憲子議員。

○6番（赤田憲子君） 議案書の175ページ、お願いいたします。

款8土木費、項4都市計画費、目2公園管理費、説明欄12020、公園管理委託料2,260万円について伺います。

前回の定例会で黒岩議員の一般質問において、公園の草刈りや落ち葉処理などが不十分であるとの住民の声が多く寄せられ、特に龍神公園、昇龍公園の管理体制の見直しが求められました。その際、草刈りの回数や、回数の適正化や委託業者の作業分散化を含め管理方法を検討するとの答弁がありました。

今年度の公園管理委託料は、昨年度比156万6,000円増となっていますが、この増額は、物価や人件費の高騰及び管理方法の見直しによるものと考えられます。そこで、植栽や草刈りの契約内容について、昨年度と比べてどのように変更する予定か、また、住民からの要望を踏まえ管理体制の改善につながる具体的な対応など、どのように考えているのか、お伺いいたします。

○議長（荻原謙一君） 小林建設水道課長。

○建設水道課長（小林 靖君） それでは、お答えいたします。

まず、植栽や草刈り等の回数また業務内容について担当の中で精査をしましたが、公園管理業務委託の草刈りの回数や植栽の剪定、施肥といった回数につきましては、変更はございません。ただし、龍神まつりであったり、フォトフェスといったイベント開催時、また、その年の天候にもよって草の伸びが違ったりもしてまいりますので、そういったところは通常の業務委託とは別に、シルバ人材センター、また民間の就労支援施設、また御代田町入札参加資格者名簿に登録されていて、業務内容が草刈りまた植栽管理等で登録されている事業者のほうと別途契約を締結し、ご協

力をいただく考えでございます。

なお、この別途草刈り増加分として、令和7年度140万円を見込んでございます。

また、令和7年度からは、公共施設の維持管理部署として、維持管理係が建設水道課に置かれることとなります。担当職員による公園のパトロール等も、これまで以上に強化し、状況の確認ができるものと考えております。

次に、住民からの要望を踏まえ、管理体制の改善につながる具体的対応ということでございますけども、今申し上げました建設水道課に維持管理係を置かれます。これ維持管理の専門ということになりますので、まずは公園、道路の維持管理を担当いたします。先ほどのお答えと重複しますが、担当職員による公園のパトロール等もこれまで以上に強化し、状況の確認ができるものと考えております。

また、公園管理の業務委託においては、請負業者から翌月の作業スケジュールを報告するよう仕様書へ追加する予定でございます。このスケジュールを把握することで、公園の状況から追加の業務発注が必要かどうか検討することができます。

いずれにしましても、ここ2年ほどご心配のご意見を多数頂戴しておりますので、道路、公園等をきれいに保っていくことに注力してまいります。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 赤田憲子議員。

○6番（赤田憲子君） はい、終わります。

○議長（荻原謙一君） ほかに質疑はありませんか。

黒岩 旭議員。

○5番（黒岩 旭君） 1件質問します。

議案書180ページ、款9消防費、項1消防費、目4災害対策費、説明欄12060、防災士養成研修講座委託料382万8,000円。これについてですけども、地域防災力向上の担い手となる人材を育成するため、防災士を本年令和6年度から5か年計画で300人程度養成することを目標に始めたものと理解しております。

1人当たり6万円相当の補助して行う事業になりますので、今後防災士の方には、どんな役割や活動を担ってもらい、町の地域防災力の向上につなげようと考えているのかお聞きします。

○議長（荻原謙一君） 荻原総務課長。

○総務課長（荻原春樹君） お答えをいたします。

防災士養成研修講座委託料でございますけれども、こちら6年度からの新たな試みとなっておりますが、本年度は定員いっぱいの56名の方に申込みをいただき、本年1月25、26日の2日間の研修と試験を受けていただいたところでございます。

当日体調不良などの都合により参加できなかった方もいらっしゃいましたが、53名の方が試験に合格をしまして、防災士として活躍していただくこととなります。

今後、町としましては、本事業で防災士となられた方を防災士ネットワークとして位置づけまして、地域や職場、学校での防災講演依頼があった際には、情報防災係にある程度の人数随行いただきまして、講演の仕方や進行の方法を学んでいただき、ノウハウの蓄積ができたところで、今度は講演する側に回ってもらうなど考えているところでございます。

また、毎年研修会を実施しまして、知識のアップデートとつながりの維持を図ってまいりたいというふうに考えております。

さらに、地域の防災訓練ですとか、実際に災害時の避難所開設や被災状況の確認などの役割を担っていただきたいということで、このようにして、地域防災力向上にご協力いただくよう進めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（荻原謙一君） 黒岩 旭議員。

○5番（黒岩 旭君） 終わります。

○議長（荻原謙一君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第15 議案第25号 令和7年度御代田財産区特別会計

予算案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第15 議案第25号 令和7年度御代田財産区特別会計予算案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第16 議案第26号 令和7年度小沼地区財産管理特別会計

予算案について―――

○議長(荻原謙一君) 日程第16 議案第26号 令和7年度小沼地区財産管理特別会計予算案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第17 議案第27号 令和7年度御代田町国民健康保険事業勘定特別会計

予算案について―――

○議長(荻原謙一君) 日程第17 議案第27号 令和7年度御代田町国民健康保険事業勘定特別会計予算案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第18 議案第28号 令和7年度御代田町介護保険事業勘定特別会計

予算案について―――

○議長(荻原謙一君) 日程第18 議案第28号 令和7年度御代田町介護保険事業勘定特別会計予算案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第19 議案第29号 令和7年度御代田町後期高齢者医療特別会計

予算案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第19 議案第29号 令和7年度御代田町後期高齢者医療特別会計予算案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手をお願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第20 議案第30号 令和7年度御代田町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第20 議案第30号 令和7年度御代田町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第21 議案第31号 令和7年度御代田小沼水道事業会計予算案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第21 議案第31号 令和7年度御代田小沼水道事業会計予算案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第22 議案第32号 令和7年度御代田町下水道事業会計予算案について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第22 議案第32号 令和7年度御代田町下水道事業会計予算案についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第23 議案第33号 令和6年度御代田町一般会計補正

予算案（第9号）について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第23 議案第33号 令和6年度御代田町一般会計補正予算案（第9号）についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第24 議案第34号 令和6年度小沼地区財産管理特別会計補正

予算案（第2号）について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第24 議案第34号 令和6年度小沼地区財産管理特別会計補正予算案（第2号）についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第25 議案第35号 令和6年度御代田町国民健康保険事業勘定特別会計

補正予算案（第5号）について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第25 議案第35号 令和6年度御代田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算案（第5号）についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第26 議案第36号 令和6年度御代田町介護保険事業勘定特別会計補正

予算案（第5号）について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第26 議案第36号 令和6年度御代田町介護保険事業勘定特別会計補正予算案（第5号）についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第 27 議案第 37 号 令和 6 年度御代田町後期高齢者医療特別会計補正

予算案（第 2 号）について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第 27 議案第 37 号 令和 6 年度御代田町後期高齢者医療特別会計補正予算案（第 2 号）についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第 28 議案第 38 号 令和 6 年度御代田小沼水道事業会計補正

予算案（第 5 号）について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第 28 議案第 38 号 令和 6 年度御代田小沼水道事業会計補正予算案（第 5 号）についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

―――日程第 29 議案第 39 号 令和 6 年度御代田町下水道事業会計補正

予算案（第 5 号）について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第 29 議案第 39 号 令和 6 年度御代田町下水道事業会計補正予算案（第 5 号）についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終わります。

以上で、全ての議案に対する質疑を終わります。

お諮りします。ただいま議題となっています議案第 13 号から議案第 39 号までについては、会議規則第 39 条の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、議案付託表のとおり、各常任委員会に付託することに決しました。

―――日程第30 報告第2号 令和7年度御代田町土地開発公社事業計画及び

予算の報告について―――

○議長（荻原謙一君） 日程第30 報告第2号 令和7年度御代田町土地開発公社事業計画及び予算の報告についてを議題とします。

これより質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。これをもって、令和7年度御代田町土地開発公社事業計画及び予算の報告を終わります。

―――日程第31 請願第2号 危機的農業経営に関する請願―――

○議長（荻原謙一君） 日程第31 請願第2号 危機的農業経営に関する請願については、お手元に配付してあります請願付託表のとおり、会議規則第92条の規定により、所管の常任委員会に付託しますので審査願います。

以上で、本日の議事日程は全て終了しました。

本日はこれにて散会します。お疲れさまでした。

散 会 午前11時50分